

ひびき hibiki

取手市議会だより第202号
2013(平成25)年8月1日発行

<紙面から>

取手市議会は、6月7日から6月21日まで第2回定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案を22件、議員提出議案を3件、そして請願・陳情を6件議決しました。

また、取手市議会基本条例に基づき5月18日に議会報告会、7月4日に市議会主催の勉強会を開催しました。

発行責任者／取手市議会議長 倉持光男
発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
ファクス 0297-74-1990
ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp

議会報告会を開催しました!! 5月18日



取手会場
(市役所議会棟大会議室)
ご来場者数：40名

去る5月18日(土曜日)、取手と藤代の2会場で開催された議会報告会を開催しました。今回は、平成24年1月に議会基本条例が制定されてから2回目の開催であり、今回の試みとして、市民の方との意見交換の時間を設けました。その方法は、会場の市民の方から、定例会の内容に限らず自由にテーマを募り、それについて議員が答えていくというものであり、これについてはおおむね好評・賛同的なご意見をいただきました。しかし、その一方で、議員による定例会の審議の報告が分かりにくい、報告会



藤代会場
(藤代庁舎大会議室)
ご来場者数：23名

の運営方針や運営手続き自体に疑問があるなど、アンケートや会場での発言において批判のご意見も同時にいただきました。報告会は、議会基本条例で毎年1回以上行われることが定められており、少しずつ何らかの改善や工夫を行いながら進めていきたいと考えています。今後とも多くの皆様のご参加をお待ちしておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、今回の参加者からいただいたアンケート結果は、取手市ホームページに掲載しています。

去る7月4日(木曜日)、富山市副市長の神田昌幸氏を講師にお迎えして、市議会主催の議員勉強会を開催しました。このたび講師をお願いした神田氏は、旧建設省入省後、国土交通省・都市総合事業推進室長などを経て、平成23年に現在の富山市副市長に就任されました。同時に京都大学大学院の非常勤講師を務め、また、取手市長も加盟している「スマートウエルネスシティ首长研究会」で講演等も行われています。今回は、「人口減少・超高齢社会におけるコンパクトなまちづくりの必要性と



議員勉強会開催!!
富山市副市長
かんだまさゆき
神田昌幸氏をお迎えして
7月4日

実効的な施策について」をテーマに、なぜ町づくり健康づくりの視点を入れる必要があるか、街なかを活性化させ、人々がそこを歩くことで、健康面、市の財政面でのような効果があるかをご説明いただいた上で、富山市で実際に行われている中心市街地活性化の施策の紹介をしていただきました。(自転車市民共同利用システム、学生まちづくりコンペティション、駅前こども図書館など)今後とも、議員一人一人の町づくりについての理解を深め、取手市発展のためになる勉強会を積極的に開催していきます。

市長提出議案

●平成25年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分：承認

風疹の流行拡大と「先天性風疹症候群」の発生を防止するための緊急対策として、予防接種費用を一部助成するための補正予算。

〔補正予算額〕
350万円の増

〔討論〕

中村議員：妊娠中の女性が風疹にかかるると赤ちゃんに障害が出る可能性が非常に高いと言われている。風疹の感染者数は今年3月末の時点で既に昨年を上回り、今年も昨年の28倍以上とも言われている。市長が本当に素早い決断でこの予防接種を実施したことは大いに評価できる。賛成。

池田議員：風疹の予防接種補助は、市長の英断で5月13日からスタートしている。風疹ワクチンが足りないことを見越して、麻疹・風疹混合ワクチンに対して



も助成するという素晴らしい内容。開始からひと月で178名が予防接種を受けており、緊急かつ必要な措置であった。賛成。

落合議員：現在風疹が都市部を中心に大流行している。本来であれば国・県レベルの早急な対策をとらなければならぬにも関わらず、いまだにその対応は消極的。市が引き続き予防接種助成の広報活動に努め、一日も早く事態が終焉することを期待し、賛成。

●平成25年度一般会計補正予算(第2号)：可決

〔補正予算額〕

10億4216万2000円の増

〔主な内容〕

- ①放射線物質除染費用
- ②市役所本庁舎の耐震補強改修事業(全体の3割分)
- ③藤代公民館の駐車場整備
- ④吉田小、戸頭東小学校の改修工事実施設計委託料
- ⑤国・県の補助事業
 - ・生活扶助基準の改定に伴う支援給付システム改修
 - ・学校理科教育備品の購入
 - ・インクルーシブ教育システム構築モデルスクール

事業(※)

旧取手宿本陣の保存修理



昭和45年建築、49年増築(3・4階部分)の市役所本庁舎

〔討論〕

阿部議員：小中学校の理科教育備品の充足率を全国平均に持っていくべき。国の予算の活用を評価したい。また、インクルーシブ教育システム構築モデルスクールに取手小学校が選ばれ、障害のある人を排除せず、共に助け合いながら生きることを目指すとしている。エールを送り、賛成。

鈴木議員：補正予算の8割を占めるのが放射線対策費。市民が待っていた民地の除染がスタート。新聞報道もされたが、側溝の汚泥

から1万4800ベクレルもの放射性セシウムが出た問題について、市民の不安を取り除くためスピード感を持って徹底した除染を行っていくことを求めて、賛成。

池田議員：放射線除染事業の計上は、民有地の除染を希望者から面的除染へと変更したため。早急に進めてほしい。小中学校理科教育設備及び教材費は教育設備を整備する姿勢を評価。本陣の補修は公開終了後からの開始で、市民に寄り添ったスケジューリング。賛成。

市村議員：自殺予防(相談機関)一覧リストの印刷費を賛成の理由に挙げたい。こうした考え方は取手市らしいものとなっている。また図書館活動の経費で、世界バリアフリー絵本展の開催に当たっては、取手市か



藤代公民館駐車場整備に伴い解体される旧商工会館(右)

らさまざまなことを発信できることを評価して、賛成。平議員：インクルーシブが引くかかる。人間対象の研究の歴史を見ると、その人たちの人権はどうなるのか。決して犠牲が起きてはいけない。そのことを訴え賛成。

※インクルーシブ教育：障害の有無に関わらず、全ての子どもが地域の学校で学べる教育。昨年7月に成立した改正障害者基本法でこの理念が盛り込まれ、その推進・研究のため、文部科学省がモデル校の公募を行った。インクルーシブは「内包」の意。

●児童福祉審議会設置条例の一部改正条例：可決
子ども・子育て支援施策の推進のための調査審議等を児童福祉審議会に所掌させるための改正。

〔討論〕

齋藤議員：日本の伝統や知恵を生かしつつ、新しい子育て環境を次世代のためにつくり直す責任がある。健康やかな子どもたちの成長に私たちの明るい未来は開ける。ぜひ取手市らしい、子どもを産み育てやすい社会の創設に取り組んでほしい。審議会の議論や子ども・子育て支援事業計画の自身は議会にも報告を行うことを希望して、賛成。

ちょっと見てって

議会事務局では、議会の日程や審議結果、一般質問通告内容などをお知らせする「ひびきメール」を配信しています。登録方法は次のとおりです。

- ・パソコンでの受信…取手市ホームページから
- ・携帯電話での受信…次のQRコードまたは取手市携帯(<http://www.city.toride.ibaraki.jp/mob/>)サイトから



また、ツイッターによる本会議・委員会・全員協議会開催などの市議会の予定や、議会に関する情報など議会情報の提供を行っております。

URLは http://twitter.jp/toride_gikai になります。また、携帯電話は、QRコードによりアクセスすることができます。

新旧化学消防車外観比較



↑上段が購入が議決された化学消防車と同型の車両
↓下段が運用開始から20年が経過している車両



●化学消防自動車（Ⅱ型）
購入契約の締結：可決
化学消防自動車購入の仮契約（※）を締結したことに伴い、議会の議決を求めるもの。

吉田議員：消防組織法では、市町村は消防を果たす責任を有すると規定されている。この責務を果たすためには、物の充実が必要。幸いにして取手市は、消防職員の努力のたまものにより、火災による死亡件数、家屋延焼数は県内でも非常に少ない状況。もう一つの重要な要素でもある装備について、化学消防車両の更新により、消防職員の意気も大いに上がっていると伺っている。消防団の装備について

契約相手	有限会社 鈴機（石岡市）
契約金額	5,996万8,090円
契約方法	指名競争入札
特殊装備	・消火泡圧縮吐出装置 ・耐熱服 ・加圧排煙器 ・熱画像直視装置

でも計画的に更新を図っていくことを期待し、賛成。
※市は、議会の議決が必要な契約を結ぶ場合、議決を得たときに本契約が成立する旨の文言を入れた契約書により仮契約を締結します。

市長提出人事案件

同意・諮問

●固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意：同意

固定資産評価審査委員会（※）委員に齊藤氏を引き続き選任するため、議会の同意を求めるもの。
齊藤茂雄氏（71歳） 〓小文

●固定資産評価審査委員会：固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査を行う行政委員会。

●人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（5件）：すべて適任と答申

人権擁護委員（※）に左記の5名を引き続き推薦するため、議会の意見を求めるもの。

- 村上紀代子氏（73歳） 〓浜田
- 小沼登美子氏（68歳） 〓下菅場
- 香取序子氏（66歳） 〓台宿
- 須賀笙子氏（66歳） 〓白山
- 小澤悦夫氏（63歳） 〓光風台

●人権擁護委員：人権思想の普及活動・人権擁護運動を行う非常勤職。市長が議会の意見を聞いた上で推薦を行い、法務大臣が委嘱する。

意見書・決議

意見書とは、議会がその意思を、国会や関係行政庁に対する意見としてまとめた文書のことです。決議は、議会の意思・態度を明記した決議文を議会内部で決定することです。

●食品のトレーサビリティの法制化を求める意見書：可決

食の安全のため、全ての食品の流通経路を明らかにすべく、トレーサビリティ（※）の法制化を求めるもの。
〔提出者〕

吉田議員ほか8名（総務文教常任委員会に関連する陳情を趣旨採択したことに伴い提出・4P参照）

※トレーサビリティ（トレサビリティ）：追跡可能性。物品が生産されてから消費または廃棄されるまでの経路がたどれること。

●「J-IPARC」放射線物質漏えい事故発生に抗議する決議：可決

5月に大強度陽子加速器施設「J-IPARC」（東海村）で発生した放射性物質漏えい事故と、その事故の関連自治体への報告が発生から1日半後であったことに抗議するもの。

〔提出者〕

齋藤議員ほか4名

〔討論〕
池田議員：1日半後の報告では、逃げる、逃げないの判断。また、家の中に退避

する、どこかに出かけるという選択の自由が奪われている状況。賛成。

平議員：チェルノブイリの何倍もの事故であると言われる中において、こんな安易な考え方で国が進めていいのか。現政権の姿勢に怒りをもって賛成。

●橋下 徹大阪市長の「慰安婦に関する発言」等に対する決議：可決

橋下氏が行った「第二次世界大戦当時は慰安婦制度が必要だった」等の一連の発言は女性の人権を踏みにじるものとして抗議し、撤回と謝罪を求めるもの。

〔提出者〕

加増議員ほか5名

〔討論〕

小嶋議員：戦時慰安婦について政府が調査した限りの文書では、軍関係による慰安婦の強制募集を直接示すような記述は見出せなかった。慰安婦問題を女性蔑視の問題にすり替えて広めようとしている。私たち今に生きる日本人のために闘ってくれた祖先の名誉と尊厳を著しく汚す決議文は許すことはできない。反対。

関戸議員：安倍内閣は、日本軍によるオランダ人女性の慰安婦強制連行の事実を示す臨時軍法会議記録の存在を認めている。日本がどういう戦争を行い、どれだけの人を傷つけたのかという反省がないところに発言の根がある。橋下氏が開き直っている中、決議を上げるのは当然。賛成。

結城議員：橋下氏は街頭演説やツイッターなどで釈明をしているが、公人が戦時下の性暴力という最も深刻な人権侵害を正当化し、また女性の尊厳を深く傷つける発言を行ったことは極めて不適切。賛成。

議会人事

議会運営委員会

6月21日付で小嶋吉浩委員長が、一身上の都合により委員を辞任しました。これに伴い、議長は佐藤隆治議員を委員に選任しました。

その後、委員会で委員長長の互選を行い、染谷和博委員が委員長に就任しました。

皆さんの希望です 請願・陳情

請願・陳情は、皆様のご意見、ご希望を市政に反映させるための制度です。請願を行う権利は憲法で保障されており、地方議会には、法の定めにより議員の紹介を通して行わなければなりません。一方、陳情にはそのような規定はありませんが、取手市議会では、政策提言として受け止め、請願と同等に取り扱っています。

請願

●年金2.5%の削減中止を
求める意見書提出の請願：
不採択

〔討論〕
遠山議員：生活必需品が値
上げされる中、さらに消費
税を上げられたら、年金生
活者には大打撃になる。市
民の暮らしを守るためにも
意見書提出は必要。賛成。

平議員：スクリーンフレ
ーションの加速に伴い、格差
社会が進むことを歯止めし
なければならぬ。ガソリ
ンや食料が値上がりする中
で、年金2.5%削減は大
きく、厳しい暮らしの方々
を、崖から突き落とすこと
はあつてはならない。賛成。
染谷議員：将来世代の負担
回避。基礎年金の国庫負担
を2分の1に引き上げ。受
給者への影響を最小限に抑
えられるとの観点から判断
し、やむを得ないとの結論
に至った。反対。

陳情

●議会活動を市民に発信す
るため議会報告会の開催を
求める陳情

これまでと違う、参加市
民と一体の①議会活動につ
いて②議員個々の活動につ
いての議会報告会の開催を
求めるもの。

〔採決結果〕
一部採択（①議会活動につ
いてのみ採択）

〔討論〕
遠山議員：議会報告会をよ
り分かりやすく、また、意
見交換の機会を設定し、開
かれた議会を目指して取り
組みたい。今後、報告会の
開催方法等を模索・試行錯
誤し、議員全員が発言する
場を作りたい。議員は各自
での情報発信が求められて
いる。①②に賛成。

●学校給食食材のトレサビ
リティに関する陳情：趣旨
採択（※）
全ての学校給食食材の素
性を事前に把握することや
「命を頂く」ということを
主眼に、食材の生産過程を
食育教育に導入することな
ど、4つの事項を求めるも
の。

〔討論〕
池田議員：陳情趣旨は、食
育、食文化などにも触れら
れており、陳情者の食に対
する熱い思いが伝わる。子
どもたちに安全安心な食べ
物を食べてほしい。食育、
食文化を勉強し、知識を身
につけてほしい思いが感じ
られる。趣旨採択に賛成。
※趣旨採択：願意は妥当
であるが、実現性に確信
がもてない場合で、趣旨
のみを採択することです。

●取手駅乗降環境整備に関
する陳情
①JR・関東鉄道との永
続的交渉専門部門を構築②
ボックスヒル内のエレベ
ーターを始発・終電の間、乗
降客が利用可能にする③取
手駅関東鉄道・JR東口側
ホームにエレベーターを設
置することについて、①が
窓口となり、②、③の事項
を敏速かつ粘り強くJR・
関東鉄道と交渉することを
求めるもの。

〔採決結果〕
一部採択（③関東鉄道・J
R東口側ホームにエレベ
ーターを設置することのみ採
択）

〔討論〕
関戸議員：JR・関東鉄道
との永続的交渉専門部門の
構築は、乗降環境整備問題
に対して、市の本気度が試
されている。取手駅JR東
口側ホーム・関東鉄道にエ
レベーターを造り、バリア
フリー化していくことが必
要である。①②③に賛成。

●除染工事に関する陳情
：可決
安全安心を市民に広く知
らせるため、取手市の放射
性物質除染工事の結果検証
を求めるもの。

〔討論〕
池田議員：除染工事終了後
の放射性物質測定結果の公
表等は、ホームページや公
民館だけではなく、看板に
よる表記など、現場での公
表も大事である。賛成。
落合議員：市民からまだ除
染に関する心配の声を多く
いただく。市はできること
できないことをしっかりと明
示し、これからも市民に安心
安全を示してほしい。賛成。

●陳情等の審議結果通知に
関する陳情：不採択
陳情に対する審議結果に
ついて、不採択となった場
合、その理由を明らかにし、
広報紙にその掲載を求める
もの。

〔討論〕
遠山議員：議会基本条例
で、議会活動に関する情報
の積極的な公表、及び説明
責任について規定されてお
り、不採択の場合、理由を
明らかにすべきである。広
報紙での掲載は難しいとの
ことだが、陳情者より議場
前に掲示するなど、何らか
の形で公表してほしいとの
発言が委員会であり、陳情
者の願意を受け止めるべき
である。賛成。
結城議員：議員の責任とし
て、賛成・反対理由を明ら
かにすべきだと受け止めて
いる。しかし陳情は、広報
紙に不採択理由を掲載する
ことを求めているが、これ
が実現不可能である以上、
採択することはできない。
また、委員会の発言は任意
のため、陳情の文章内容で
判断しなければ、平等性が
損なわれる。反対。

●除染工事に関する陳情
：可決
安全安心を市民に広く知
らせるため、取手市の放射
性物質除染工事の結果検証
を求めるもの。

ここも見てって



取手市議会では、本会議の生中継を行って
おります。インターネットに接続できる
パソコンをお持ちの方は、取手市役所ホ
ムページからご覧いただけます。
また、本会議の録画配信も行ってお
ります。
さらに、過去の本会議会議録や委員会
記録を検索・閲覧できる「会議録検索シ
ステム」もありますので、ご利用ください。

一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。

この質問を「市政に関する一般質問」といいます。今定例会では、23人の議員が一般質問をしました。その状況について、ご紹介いたします。

環境にやさしい 資材の活用を

阿部 洋子ようこ 議員



PB530(プラスチック・ブレンド・ゴミゼロ)を使用したテーブルベンチ

問 環境基本計画にある環境家計簿(※)のモニターの進捗状況は。

まちづくり振興部長 環境家計簿を実験的に行ったが手間がかかるという意見があった。現在は、環境家計簿に似たチェックシートによって節電を呼びかける運動に転換せざるを得なくなった。

問 ベンチ等の公園用資材には、どんなものを使用しているか。

答 グリーン購入推進指針等に基づき、工事の資材は可能な限り環境に負荷がかからないものを使っている。
問 さまざまな樹脂が混ざったものや異物がついた

プラスチックを分別せずに溶かし、板状や棒状に生成できる製品(PB530)がある。焼却と比べて二酸化炭素の発生率は14分の1。耐久性に優れ、低コストで何度でもリサイクルができる。活用してはどうか。

答 グリーン購入推進指針に沿った形で経済性も満たすので検討したい。また、公園整備も予定しているので、導入も検討したい。

問 PB530の活用は、市の環境に対する取り組みとして分かりやすいのでは。

答 内閣で環境物品等の調達推進の基本方針が決定されている。庁内への周知など、グリーン購入が推進できると取り組みたい。

※環境家計簿：環境に負荷のある行動(家庭の電気等の使用量、廃棄物の排出量等)を記録する帳簿。

非常時に備え 地下シェルターの設置を

平 由子ゆうこ 議員

問 アメリカで風速70メートルを超す風が吹いた。日本においても、アメリカは特別という考えは持てない。気温の寒暖の差が激しくなれば、風も強くなる。戦争で防空壕に入って爆撃を防いだように、土の穴でいいので、造って竜巻をし

のぐ考えはどうか。壁や空気口を付ければ省エネの部屋ができる。土の中は、所有者のものなので、誰にも文句は言われずに掘ることができるが。

市長 アメリカにいた時に、竜巻を見て、逃げた経験がある。つくば市の竜巻から1年が経過したが、改めてどのような対応が可能か、気象庁など関連機関に聞きながら、減災や小さな子どもたちなどの身を守るために必要な施策については、情報収集をして、情報の伝達や啓発をしていきたい。

問 外国に行くくと、ほとんどの家に地下がある。災害等から守るために必要だと思おうので、1個だけ欲しいので、地下シェルターを造ってほしい。

答 市内のかかりの場所では、1メートル掘らないうちで、地下水位が上がってくる。日本で防災に役立ち、食料の備蓄を行っている地下シェルターがあれば、研究するレベルから対応をしていきたい。

健康づくり推進室の 役割は？

山野井 隆たかし 議員

問 健康づくり推進室は、ウエルネス施策の体系化、方向性の明確化と、健康づくりの具体策を企画立案

し、関係部署と連携して実施するために設置したと聞いている。推進室の役割と今までの取り組みについて。

市長 子どもから高齢者が健康で幸せに暮らせる新しい町づくりを進めるための企画立案、部門間の調整を行い、市全体の健康づくり施策をつくっていく。

健康福祉部長 10年、20年先を見据えた健康づくりを考えていこうということ、業務を行っている。

問 ウオーキングは、生活習慣病の予防として効果がある。余り興味がない方へのPRの方法は。

健康福祉部次長 老いに負けない健康づくり教室を開始した。ウォーキング人口を増やす取り組みで、8団体を、約400人の方が所属。さらに広げたいと思っ

ては、また、歩くことや健康に興味がない方々に対しては、楽しい、行ってみたいと思わせるようなイベントを考えている。

問 関係部署との連携という点で、学校教育における給食の中で、食育に視点を当てて、広げていく考えは。

答 保健センターで実施している栄養指導の事業や給食に対する食育の取り組みに、地産地消の面からフードマイレージ、環境面に優しい食育の推進など、各部署と協議をしていきたい。

取手駅に 小田急ロマンスカーを！

小嶋 吉浩よしかほ 議員

問 3月にJR東日本と小田急電鉄の相互乗り入れが決まった。当面は、普通車両の改造による乗り入れだが、ロマンスカーも改造すれば乗り入れ可能と確認。ロマンスカーの取手駅乗り入れ可能性について、どのように認識しているか。

市長 常磐線の東京駅乗り入れを26年度に控えている。さらにロマンスカーが取手駅まで運転できれば、大変注目を集める。素晴らしいことだと思おうので、ぜひ働き掛けをしていきたい。

都市整備部長 小田急に確認したところ、特急車両の改造の予定はないが、JR・東京地下鉄と検討していくという返事だった。

問 もし、ロマンスカーが取手始発となれば、市のイメージアップは計り知れない。県民にとっても大変便利で魅力ある路線になる。市を挙げて誘致運動に取り組むべき課題と考えるが。

答 取手の活性化に非常に大きなインパクトを与える。市民の利便性はもちろん、近隣の方が取手駅に集まることを考えられる。常磐線沿線の市町村と協調しながら申し入れをしていきたい。

「食」と「健康」

齋藤 久代 議員

まちづくり振興部長 いい野菜を食べると健康になる仕組みにより、生産者の振興に寄与できる、健康な農産物づくりを検討したい。

ウエルネスプラザの進捗

佐藤 隆治 議員

問 市長のマニフェスト、ウエルネス・タウン計画において、プラザの中身の整備が重要であると認識している。現在どのように検討しているのか。

都市整備部長 副市長を

トップに検討の会議を約20回開いている。業者提案の設計に防犯上、機能上の問題から変更を加えている。

問 多目的ホールはどこまで決まっているのか。

中心市街地整備課長 2分割の機械式昇降舞台。座席は最大400で、電動の座席を備えている。座席を除いた状態でも講演会等に利用できるよう計画している。

問 エントランスホールは。

答 施設の顔として開放的な空間を確保するため情報コーナーやカフェを設ける。

問 健康福祉部次長 子どもから高齢者まで効果があるマシーンや有酸素運動ができるシステムを入れたい。

問 キッズプレイルームは。

健康福祉部長 親子が一緒に遊べる、子どもの運動能力の発達を目的とするスペース。専門性の高い遊具を選定したい。

問 よく検討していただきたい。今後のスケジュールについては。

都市整備部長 7月末ぐらいには基本設計をまとめ、詳細設計に入り、27年3月オープンを目指している。

学校防災マニュアルの作成を！

池田 慈 議員

問 教育委員会は、学校防災マニュアルを作成していない。各学校で作成した危機管理マニュアルで対応しているが、見直しの実施は。

教育部長 危機管理マニュアル検討委員会で作成し、改正を行っている。しかし、東日本大震災で、今までのマニュアルでは対応できない問題が生じた。県の防災に関する手引きを参考に実情、実態に合ったマニュアルを作成中。

問 いつまでに作成する予定か。

教育部長 今年度中には作成できるよう進めたい。

問 ぜひ今年度中に作成してほしい。放課後子どもクラブは、この防災マニュアルにより行動すると考えてよいか。

答 学校だけではなく、放課後子どもクラブの活動も踏まえて進めたい。

問 防災マニュアルを1枚のダイジェスト版で作成して、保護者、自治会、自主防災会等に配布、説明してほしい。

教育部長 視野に入れていきたい。

問 飲料水の備蓄について、児童生徒のため学校での備蓄の検討は。

総務部長 現在、市役所等8カ所に備蓄をしているが、全員分は確保できない。新しい取り組みで、市内のスーパーと協定を結んでおり、その中で対応できると思う。今後、大型店とも協定を結んでいきたい。

埋め立て工事による環境保全は？

関戸 勇 議員

まちづくり振興部長 担当では申請の際、業者の方に自然環境をできるだけ損なわないようにお願いはしているが、強制力がない。

問 環境基本計画では、水路などの整備で、生物の生息に配慮した工法まで踏み込んで保全努力する姿勢を明確にしている。一昨年9月議会、米ノ井地区にあるヘイケボタルやメダカが住む小川の保全を求めた請願が採択されたが、この間、小川は壊され続け、貴重な生き物が次々と死んでいる。総合計画や環境基本計画との関連でこの事態をどのようにとらえるか。

建設部次長 市道を通行して盛り土を行う際には、道路の使用届を出してもらい、道路の機能を損なわないように、工事が完了した際には現況に復する。工事中には現況でも、適時指導して原因者である業者に復旧をさせている。指摘の場所は現状を確認し、適切に対応する。



米ノ井地区の市道

市の防犯対策

金澤 克仁 議員

問 市内の青色防犯パトロールの運用状況は。

市長 市職員による防犯パトロールを5月1日から11月末まで、午後2時から午後4時まで実施。教育委員会も独自に3時から5時まで実施している。また、市内の6団体が青色防犯パトロールに取り組んでいる。

問 市内に80数団体の防犯、自主防災組織があるが、これらの団体に市として青色防犯パトロール実施のお願い等は行っているのか。

総務部次長 団体にパトロール隊の設置について案内しているが、青色パトロール実施に当たっては、単に乗用車にランプを付けるだけでは活動できないため、車両等の費用がかかる。他にも手続きが必要となるため設置には至っていない。

問 不審者情報に関するメールは、メールマガジン登録者だけでなく、スクールパトロールや市政協力員にも情報提供をしてはどうか。

総務部長 この2年間で非常時の防災用携帯電話の配布を完了した。メールマガジンの登録など携帯電話を活用して情報提供できるか、研究、調査したい。

合併特例債を活用し 学校にエアコンを！

落合 信太郎 議員

問 合併特例債は、残り約40%活用できるが、どのように活用するのか。

財政部次長 上位法で10年間延長となったので、延長に向けた事業に着手した。次世代の教育環境整備、保育所、道路、排水といった住民生活に密着したところに活用したい。

問 近隣市町村の動向も踏まえ、合併特例債を利用した市内小中学校のエアコン設置についての考えは。

市長 学校の耐震化が一番だが、老朽化した学校は、トイレを含む大規模改修が必要になってきている。エアコン設置は、早急に検討しなければならぬが、財政的なこともある。

問 エアコン設置についての具体的な試算は。

政策推進部長 守谷市が入れ替えた時は約6億円。当市の場合は最低でもその倍の12億円と試算している。

問 合併特例債を使えば費用負担は少なくなる。合併のメリットを身近に感じてもらえる使い方として、この部分を検討できないか。

財政部長 10年間の延長を検討するが、その中で教育委員会と公債金の支出のこ

とを考えて、財政計画を立てて検討していきたい。

空き店舗解消の 取り組み

吉田 宏 議員



補助金制度を利用した店舗

問 市内の空き店舗解消の取り組み状況は。

まちづくり振興部長 空き店舗活用補助金制度を設けた。内容は、①店舗改装費として、市内業者への発注を条件に、改装・設備・設計費用について、補助率2分の1、限度額100万円。

②家賃として、補助率2分の1、月額5万円以内で、期間は1年間。平成24年度は2店舗、平成25年度も既に1店舗、制度を利用し出店している。

問 空き店舗解消に向けた、物件等の情報提供・発信について、市の考えは。

答 ホームページ等を通じた補助金制度のPRや空き

店舗の詳細情報を提供できないよう工夫したい。また、不動産業者と相談し、情報提供の拡大を図りたい。

問 貸す側が安心して空き店舗を貸すことができるような取り組みはあるか。

答 補助金制度の利用希望者に対して、経営面、資産、資本等について丁寧に聞き取りを行っている。加えて、経営指導等の経営支援も強化しており、制度利用者のバックアップを行うことで、貸す側も安心して店舗を貸せると考えている。

ゆめみ野地区と 戸頭東・西小の今後

入江 洋一 議員

問 ゆめみ野駅前の商業施設誘致の状況は。

都市整備部長 約1ヘクタールの用地を確保し、住民の利便性確保を計画しているが、現段階では商業施設の進出は決まっていない。

問 工場建設により、道路が影になり、中学生の通学路が暗く危険。安全な環境対策から街灯設置の計画は。

建設部長 現在、関係機関と協議中。許可がおり次第、LEDの防犯灯を設置する。

問 下高井近隣公園の調整池について、児童の転落事故防止のための安全対策は。水とみどりの課長 柵の設置により安全を確保する。

工事の際には、看板を設置し注意喚起する。

問 ゆめみ野地区における公園の整備計画は。

答 近隣公園のほか4つの街区公園の整備を今年度実施。街区公園は広場主体で、2つを集い空間、残り2つを遊戯空間として整備し、遊具等を設置する。

問 新取手地区周辺の信号機の設置と見直しは。

市長 5月27日付で取手警察署に要望書を提出している。引き続き、県警に設置要望を強く働き掛ける。

問 統廃合計画にある戸頭東小学校の施設改善は。

教育次長 外壁塗装及び廊下・教室・トイレ等の改修並びに給食室の改修等を予定している。

桑原地区の開発

染谷 和博 議員

問 桑原地区は、事業者から商業施設等の開発意向があり、地元住民や地権者の要望も強い。市の計画にも開発を進める地域とあるが、進捗状況は。

市長 桑原地区は、都市計画道路の整備により環境の変化が大きく見込まれる。今年度は、平成27年度の県の都市計画決定に向けた基礎作業を進める。同地区は、事業者の参入意欲も非常に

強い。市街化地域への編入の手法を用いて、一刻も早く取手の活力を具現化することが市民や地権者の大きな期待だと思ふ。

問 開発地域は、国道6号を挟んで3区画あるが、具体的な計画は出ているのか。都市整備部長 事業者と事業の確実性に向けた協議をしている。

問 3区画の中で南側について話があるが、事業者に対してのアプローチは。

答 立地条件が非常に素晴らしく、事業者の意向も比較的高く感じる。地権者に影響するため、事業化に向けた確実性、担保性をきちんと整理していきたい。

問 市長の企業誘致に向けた意欲について。

市長 市のポテンシャルが高いことを営業していきたいが、農地を市街化区域に編入する必要がある。間違いなく期限内に仕事ができるよう万全を尽くしたい。



国道と都市計画道路が交わる桑原地区

ウエルネス・タウン 構想

結城 繁 議員

問 4月にできた健康づくり推進室の職員は、通常業務のほかに健康増進に関わる業務を行っているのか。

健康福祉部長 部門間の連携が通常の仕事であり命題。部を超えた健康施策の連携が推進室の本来の仕事。

問 取手・藤代保健センターがウエルネスプラザに集約された後もその建物は使用すると聞いている。バリアフリーの観点からエレベーター設置や雨漏りへの対応は。

答 雨漏り、電気、水道の最低限の修繕をしながら引き続き使用していく。

問 東西自由通路の進捗は。

都市整備部長 JR東日本と継続して協議しているが、目に見える進捗はない。

問 ウエルネス・タウン構想における自転車の活用は。

答 整備中の自転車駐車場には、レンタサイクル、屋上に休憩や着替えスペースを設ける。また、ウエルネスプラザ内にシャワー室やロッカー室を設ける。

問 5月31日は世界禁煙デーだが、我孫子・柏と異なる、取手があまり取り上げないのはなぜか。

まちづくり振興部長 キャンペーンを強化していく。

7

白山西小の統廃合

川又 貞男 議員

問 小中学校適正配置基本計画では、白山西小学校は稲小中学校との統合ではなく、稲・寺原・白山小学校に分かれる計画となっている。子どもたちが友達と別れることは、大人には理解できない悲しみだ。子どもが喜んで成長することを考えるのが教育者の役目で、頭数を合わせればよいという子どもの心を無視した統合案には賛成できない。教育委員会の考えは。

教育長 小学校の統合については、平成27年4月から統合校となる各学校において準備協議会を設置し、統合が円滑に進むよう話し合いを行っている。白山西小学校と稲小中学校の統合については、平成28年4月を目標に、昨年から関係者に対して説明会を開催し、意見をいただいている。その中で、新しい夢や目標、新しい友達との出会いやたくさんの友達との交流など、夢を描けるようなことを子どもたちにしっかりと伝え、マイナスイメージではなく、前向きに捉えられるよう、学校や保護者の方に協力いただき、進めていきたいと考えている。

藤代駅北口の交通

遠山智恵子 議員

問 藤代駅北口は、旧藤代町時代に作成したバリアフリーのまちづくり基本構想に、駅前広場を造り、バスやタクシー乗り場を入れる事業の計画があるが凍結されている状態とある。都市計画決定を何十年も引きずっているものは変えなくてはいけない。都市計画マスタープランでも変更について入っている。ぜひ、藤代駅前の現状と計画を照らし合わせて、まず地元と周辺地域の方との意見交換を行ってほしいがどうか。

都市整備部長 北口は、特に雨の日など自動車が混雑して大変と認識している。現状をきちんと認識して、どのような形がいいか、これから検討していきたい。



送迎車の停車位置(藤代駅北口)

問 線路伝いの土地は公有地で、歩行者専用道路は、2メートルあればできる。ぜひ取り組んでほしい。

送迎車の停車位置を確保していただいたが、道路が狭いので、その表示をしてほしいがどうか。

建設部長 警察と協議して進めていく。

児童の安全のために情報共有を！

渡部日出雄 議員

問 取手郵便局横の雨水管理工事は県が実施。工事に伴い(通学路の)横断歩道と歩道の一部が通行止めになる話を、稲小中学校校長は教育委員会から聞いていなかった。児童の安全に関する通学路の変更が、なぜ責任部署の教育委員会に知らされず決定されたのか。

教育部長 施工業者から稲小に連絡があり、稲小から教育委員会に連絡が来た。直ちに県の担当者や施工業者から工事の説明を受け、安全対策の再検討をお願いした。その結果、工事は中断。工事を始める1か月前には連絡をもらう約束をした。

問 工事を建設部は知っていたが、なぜ教育委員会に伝えなかったのか。

建設部長 情報提供の制度がなく、行き届かなかった。

問 教育委員会は建設部等に対する通学路の報告は考えていなかったのか。

教育次長 通学路の緊急合同点検を実施した中で、連携が非常に重要視されている。対応していきたい。

問 市内で工事を行う場合、必ず警察・消防と道路使用の調整を行う話を聞いた。消防署に通学路の地図を渡すなど考えられないか。

答 工事に関連する部署に対して、情報を促し、相談をしていきたい。

国・県と連携した市政運営を！

中村 修 議員

問 地域主権・地方分権により権限移譲が実施されている。許認可基準など、市民に近く、実情に合うものが必要と考えるが、対応は。

市長 実情に合った政策を遂行できる反面、権限移譲に伴う人員は付かないので、年々負荷が厳しくなっている。福祉に関わる所は、専門性を伴う職員の育成が非常に重要になると思う。

政策推進部長 国の基準のままではなく、市の独自性を踏まえた中で条例を議会に提案している。

問 国・県・市が役割を果たす上で、連携をしながら対等な立場での協力が不可欠と感ずるが。

副市長 さまざまな分野での連携が非常に重要と感じる。今後も連携して、市の発展に全力を尽くしたい。

問 市の教育振興基本計画点検評価報告書の行政の現状と課題を読んで、市単独では困難な課題もあることが分かった。課題をクリアしながら地方教育行政を推進するには、県との連携が不可欠。連携している事業と、今後連携したい事業は。

教育長 昨年度、地域との連携による学校の防災力推進事業(写真)を実施。現在、通学路の安全対策アドバイザー派遣事業を申し込んでいる。統廃合に関わる教員の配置等も、要望しながら検討を進めたい。

副市長 さまざまな分野での連携が非常に重要と感じる。今後も連携して、市の発展に全力を尽くしたい。

問 市の教育振興基本計画点検評価報告書の行政の現状と課題を読んで、市単独では困難な課題もあることが分かった。課題をクリアしながら地方教育行政を推進するには、県との連携が不可欠。連携している事業と、今後連携したい事業は。

教育長 昨年度、地域との連携による学校の防災力推進事業(写真)を実施。現在、通学路の安全対策アドバイザー派遣事業を申し込んでいる。統廃合に関わる教員の配置等も、要望しながら検討を進めたい。



避難場所確認の様子(白山小)

問 平成20年度から、医療保険者は特定健診・特定保健指導の実施を義務付けられた。メタボリックシンドロームの診断基準に従い、複数のリスクを持つ受診者への特定保健指導の実施により、将来の医療費削減を目的としているが、40〜50代男性の受診率は10%台。未受診者対策の具体的計画と、受診率向上への市独自の基準制定は考えているか。

健康福祉部長 重点地区を選定し、保健師の訪問指導を考えている。メタボリックシンドロームを含む生活習慣病に対して、29年度までの計画を策定し、この中にも重点地区の設定をしている。市独自の基準はないが、歩くことを基調とし、保健指導の中で進めていきたい。

問 健康への関心が高まる中、ウォーキングが推奨されている。歩く距離に応じてマイルが加算されるウォーキングマイルレージが、国の研究事業の一環として実用化が進められている。その人の運動習慣や継続性を知ることができ、ポイントで植樹による二酸化炭素の削減など社会貢献ができる。取り入れてみてはどうか。

健康福祉部次長 計画中のウエルネスプラザ内の健康トレニングジムに歩くことを取り入れたシステムを導入したいと考えている。マイルレージは、取り入れる方向で検証を重ねたい。

市民の健康維持のために

石井 めぐみ 議員

問 平成20年度から、医療保険者は特定健診・特定保

撤回を！ 図書館窓口業務委託

鈴木 潔 議員



ふじしろ図書館の受付

問 図書館法等で、図書館は教育文化の基礎となる施設として、民主主義の根幹を支える住民の学ぶ権利、知る権利を保障するのふさわしい体制を整えることが義務付けられている。それにも関わらず、窓口業務の民間委託を進める理由は、**教育部長** 平成23年5月に作った公共施設マネジメント白書では、30年を経過している施設が半数近くあった。あと20年で建て替えが必要なることを踏まえて、今年、行政経営改革プランを作成した。そこで効率化や業務の見直しを行わないと、今後の維持ができなくなるので、できることは一部民間委託ということになった。

現在も窓口業務は、ほぼ臨時職員が対応している。
問 経費削減のために責任を果たせなくなる。納得できない。市直営の教育上のメリットはたくさんあるが、民営化のメリットは経費削減ぐらいしかないと思うが。
図書館課長 図書館協議会にメリット・デメリットは全部出した。策定中の仕様書により解決を目指したい。

問 図書館司書の役割についてどう考えているのか。
答 本のインターネット予約等に司書の手間が大変かかっている。図書館の学

校連携や子どもの読書推進計画など新しい業務も増える。司書本来の業務を行う時間を増やしたいので、窓口業務の委託を考えている。

通学路の安全対策

加増 充子 議員

問 保護者の安全な通学路への思いは切実だ。まして統合される学校の安全確保は急務。全国の通学路での事故を受けて、昨年行った通学路調査実施後の安全対策の進捗状況はどうか。
教育部長 昨年8月に各小

学校から報告のあった箇所を教育委員会、学校、道路管理者、警察で現地調査した。その後、対策案を検討し、対策を実施した。4月

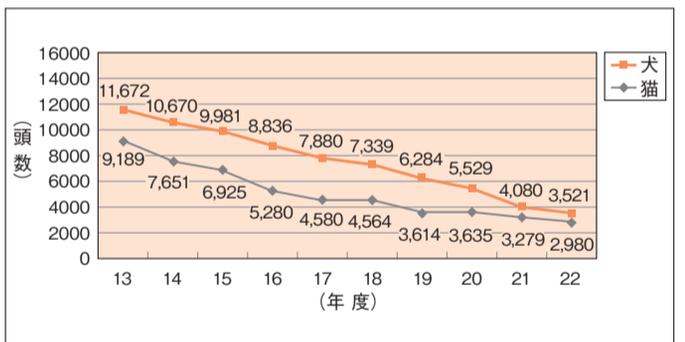
は、教育委員会でも再度現地調査を実施。対策の未実施箇所は、各担当者間で対策会議を実施するなど、有効な対策について、連携をとりながら継続した協議を行っている。
問 安全調査に保護者を入れることは考えていないか。
教育次長 多くの学校が毎年PTAの校外指導員を中心に意見交換会を実施。また、防犯を含めた危険箇所マップを作成している学校も多く、保護者や子どもたちへの周知と情報交換を実施している。

問 小中学校適正配置基本計画では、通学路の整備をうたっている。学校統廃合を強行したからには、通学路を改善し、子どもの安全を保障することが最大の責任だと思いが。
答 取手一中の統合の時には、統合準備協議会の中にPTA部会をつくり、両校のPTAが合同で危険箇所の点検をした。小学校も同様に検討していく。この夏には合同で点検を行う予定。

致死処分ゼロを目指す！ 動物愛護条例

市村 達明 議員

問 茨城県動物指導センター（笠間市）を視察した際、犬・猫致死処分の厳しい現実を見せ付けられた。



犬猫の致死処分頭数(動物指導センターHPより)

茨城県の致死処分数は、23年度まで7年連続全国ワースト1位。捕獲・処分は県の仕事だが、ペットを飼う人たちへの啓発活動は市の仕事と言っても過言でない。

市は、狂犬病の予防接種と犬の飼い方・しつけ方教室を実施しているが、そこで啓発活動は行っているのか。
まちづくり振興部長 予防接種の際、獣医による相談を実施。そこで啓発的なアドバイスもしている。

問 守谷市・牛久市は、NPOとの協働で、市主催の犬・猫の譲渡会開催や場所の提供を実施しているが取手市ではどうか。
まちづくり振興部長 協力できる部分もあると思う。まずは話を聞いてみたい。

問 ボランティアの方たちの活動を支援できるのは動物愛護条例。主に啓発活動が必要だと思うが、それを含めた条例化の考えは。
市長 動物愛護団体の皆さんの気持ちはよく分かる。県の(捕獲から処分に至る日数の)基準が他県と比べて短ければ、見直しを願います。また、命を大事にする教育を行うことも大変大事。事例研究をしてから対応したい。

インフラ(※)の 包括的な管理・運営を！

飯島 悠介 議員

問 道路を初めとするインフラの老朽化への取り組みには、客観的な情報の把握が必要。一元化での管理、できればデータ化が求められるが、市の取り組みはどのように行っているか。
建設部長 道路については、合併前の取手市と藤代町で台帳を持っていた。合併時にデータの統一化を考えたが、予算的な部分で行き着いておらず、それぞれの台帳で管理している。

問 老朽化するインフラを管理する手法として、インフラマネジメント白書を作り、計画を立てて事業推進をしている自治体がある。市の考えは。
政策推進部長 市だけでなく、他の自治体を見て、どういう位置にあるのかを含

めて研究したい。
問 インフラマネジメントという問題に組織上、取り組んでいけるのか。
政策調整課長 どこで行うかが今後の課題になるが、しっかり対応しなければならぬ課題と捉えている。
問 インフラマネジメント、公共施設マネジメントを取りまとめておく考えは。
副市長 市では公共施設マネジメントを行っている。市が抱える施設の維持管理の今後を考えることが重要と考えており、まず公共施設マネジメントをどう進めていくかを議論している。
※インフラ：ここでは都市基盤施設を表す。具体的には、道路、橋梁、公園、上下水道など。庁舎、学校等の建築物は含まない。

次の定例会は、
9月4日(水曜日)
開会の予定です。

平成 25 年第 2 回定例会の議決結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「不」は離席など採決時不在、「除」は除斥による退席を表します。
議長（倉持光男議員）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。
議案・請願・陳情の採決は、1件ごとに行っています。

種別	件名	議決結果	会派名、議員名及び賛否の別																											
			賛否数		創世クラブ					はやぶさ				公明党				日本共産党			民	志	日	彰	と	み				
			賛	反	石	川	山	吉	入	佐	倉	渡	金	中	佐	赤	落	染	阿	齋	関	鈴	遠	加	平	結	小	飯	池	市
市長提出	国民健康保険税条例の一部改正条例の専決処分	承認	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出	食品のトレーサビリティの法制化を求める意見書	原案可決	25	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	「J-PARC」放射性物質漏えい事故発生に抗議する決議	原案可決	24	0	○	○	不	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	橋下 徹大阪市長の「慰安婦に関する発言」等に対する決議	原案可決	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	
請願・陳情	年金 2.5% の削減中止を求める意見書提出の請願	不採択	8	17	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
	議会活動を市民に発信するため議会報告会の開催を求める陳情（陳情事項 1）	採 択	23	2	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	〃（陳情事項 2）	不採択	5	20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
	学校給食食材のトレーサビリティに関する陳情	趣旨採択	25	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	取手駅乗降環境整備に関する陳情（陳情事項 1）	不採択	4	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	〃（陳情事項 2）	不採択	4	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	〃（陳情事項 3）	採 択	25	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	除染工事に関する陳情	採 択	25	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情等の審議結果通知に関する陳情	不採択	4	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×

会派名：彰考会＝彰考会@取手、とりで生活者＝とりで生活者ネットワーク

以下の市長提出議案は、全員賛成で原案可決、承認、同意、適任と決しました。

（原案可決） 自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正、税条例の一部改正、児童福祉審議会設置条例の一部改正、農業用堆肥舎等施設の設置及び管理に関する条例の一部改正、市営自転車競走実施条例の一部改正、道路占用料条例及び法定外公共物管理条例の一部改正、取手地方広域下水道組合理約の変更、化学消防自動車購入契約の締結、市道路線の認定、平成 25 年度一般会計補正予算（第 2 号）、平成 25 年度介護保険特別会計補正予算

（承認） 税条例の一部改正条例の専決処分、都市計画税条例の一部改正条例の専決処分、平成 24 年度一般会計補正予算（第 11 号）の専決処分、平成 25 年度一般会計補正予算（第 1 号）の専決処分

（同意） 固定資産評価審査委員会委員の選任（齊藤茂雄氏）、

（適任と答申） 人権擁護委員の推薦（村上紀代子氏、小沼登美子氏、香取序子氏、須賀笙子氏、小澤悦夫氏）